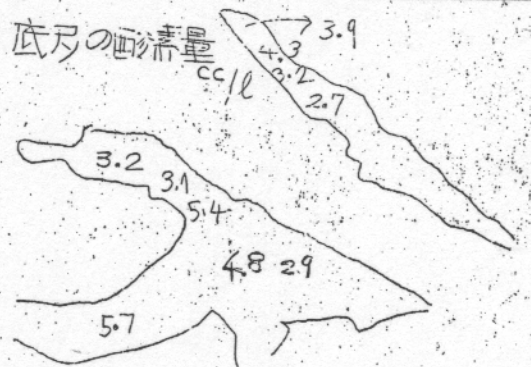


現在の水質

今年も雨も多いようで水位は常に平水位以上を保たれております。49年、50年の場合、6月上旬にはすでにいくらかの被害が発生してありましたが、今年は、現在までのところ、養殖ゴイの成長や健康状態は良好のようです。しかし水質を見ると、気はなる点もありません。たとえば、6月7日の底月の酸素量は北浦の江川や霞ヶ浦の橋田沖では3.0以下に低下してあります。このような状態は、すでに5月中旬頃から見られており、5月26日に

6月7日 底月の酸素量 cc/l



は、田代で2.9、柏崎で2.7%が観測されております。プランクトンはユウグレナ等の原生動物が多く、緑藻や藍藻もいくつも見られます。これからどうなるプランクトンが出現するかが問題と

なっております。

ワカサギ試験操業

※一回(五月二十八日)

三又沖、牛渡、高浜入の三ヶ所、28日早朝、一回20分にわたって試験操業が行われました。三又沖、牛渡沖では数十尾でしたが高浜入では約300尾/20分で豊漁でした。大きさは0.4gでした。昨年の試験曳きでは約100尾でしたから、今回の300尾は豊漁といえますが、湖全体ではどうなのか、どうして高浜入に多かったのか等の点が問題となります。今回の調査からはまだ今年の豊凶を占うことはできません。

今年の観測

6月から霞ヶ浦北浦の13点で酸素量の測定を行ってまいります。毎週、月、水、金の三日です。結果は午後三時頃にわかります。電話をしていただければ結果をお知らせします。

酸素量の測定について

酸素量の測定を実施している方もぜひお増えているようです。

御希望があれば、酸素測定法を指導いたします。申込んで下さい。